



第 545 号 令和 5 年 12 月 1 日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階
T E L (075) 256-0351
F A X (075) 241-3568
発行人 杉本英造

第 54 回 全国学校保健・学校医大会

第 1 分科会に参加して

会 長 杉 本 英 造

- 発達性協調運動障害への対応としてのトレーニング機器の開発 埼玉県 平岩幹男氏
- 小児科クリニックでの児童発達支援の実際：とくに公立小学校への訪問支援について 兵庫県 野間大路氏
- 保育・幼児教育関係者との連携を考える—大阪府医師会の取組み— 大阪府 木野 稔氏
- 学校児童生徒の小児慢性疾患に関する学校医・教職員アンケート調査～病気を抱えた子ども達のために学校医が学校で出来ること～ 神奈川県 佐々木明德氏
- 医療的ケア児が複数在籍する学校における看護師配置数算定の試案～児童発達支援・放課後等デイサービスにおける医療的ケアスコアの利用～ 広島県 森 美喜夫氏
- 東京都における学校医の現状・問題点と将来への展望 東京都 弘瀬知江子氏
- 学校健診の理解を深めるための教育委員会及び学校との連携 学校内科健診—大阪府医師会の取組み 大阪府 森口久子氏
- 徳島県医師会における学校保健委員会活動について 徳島県 田山正伸氏
- 中学校女子の内科健診 播磨町・加古川市の取り組み 兵庫県 中山慎一氏
- 東京都立高等学校における産婦人科学校医制度について 東京都 長岡美樹氏
- 当院における虹外来開設後の学校との連携について 秋田県 高橋まや氏
- 性の多様性(LGBTQ)に関する授業実践の取り組み 秋田県 成田まい氏
発表されたなかで いくつかを紹介します。
 - 姿勢保持・協調運動障害により座ることはできても座り続けられない、立って靴が履けない、姿勢が安定せず字がうまく書けない子どもに混合型仮想現実：プロジェクションマッピングを使用したゲーム「トレキング」を使用し、バランス、片足立ち時間の改善がみられた。
 - 保育所、幼稚園、小学校等へ訪問。自閉症、知的発達症、脳性麻痺、ADHD等の子どもたちに発達特性の理解や関わり方、授業参加方法、給食の食べ方指導、興奮時の落ち着かせ方、コミュニケーション指導、授業中の姿勢保持のための座椅子や道具、文具を紹介。
 - 幼児から小学校へ移行することに支障を抱える児童に対処するため「幼保小の架け橋プログラム」乳児・幼児の成長や健康について学ぶ研修会を保育所（園）、園医を対象に、感染症、重大事故、発達心理、スキンケアなどをテーマにグループワーク形式が役立った。
 - 学校健診精度を保つため脱衣を必要とするが、様々な理由で衣服の脱衣に配慮を要する生徒が増え、保護者の考え方も多様化している。大阪府教育庁と連携し適正な健診を検討。その一環として内科健診スライド動画を作成。QRコード（P 2 に掲載）から視聴してください。健診時の不適切事例、盗撮事案について大阪府警から教育庁へ提案あり、情報共有を行っている。

9. 令和4年から肌を覆う面積の小さい下着をつけて健診を受けてよいこととした。(背面は見える下着)小4から中3までの14076人中9763人(69%)のアンケート結果。①下着をつけない内科健診をどう感じたか。とくに何も感じなかった:22%、すこし嫌だった:40%、すごく嫌だった:29%、健診の日学校に行きたくなかった:8%。②下着をつけてよくなりどう感じたか。とてもうれしかった:19%、健診を受けやすくなった:49%、特に感じない:30%、下着をつけない健診でもよい:0.5%。女子への質問。今後内科健診で希望すること。同じ性別の医師がうれしい:84%、下着の種類を増やしてほしい:54%、待ち時間他の子に見られないようにしてほしい:43%。男子への質問。同じ性別の医師がうれしい:31%、上半身の下着をつけてよい:18%、待ち時間他の子に見られないようにしてほしい:27%、特にない59%。播磨町の2つの中学は令和5年から2名女性医師を採用し、女子健診担当。加古川市の12の中学で11名男性医師だが、令和6年から女性医師が女子健診担当するよう進める。
10. 令和4年 都立高校等での「生涯の健康に関する理解推進及び相談体制の整備事業」により東京都庁から東京産婦人科医会への委託事業とし

て、年間を通じて保健指導、健康相談、健康教育を行う。都庁は設置希望校を選定し医会に提示。学校の特徴、立地を考え適任者を人選。初年度10校、本年5校設置、来年5校設置予定。186校ありマンパワー問題あり。

11. 2から4歳の子どもは性差を理解し始め、性ホルモンの分泌とともに自分のジェンダーや性器いじりなど性的行動を探求。正常な発達だが、行動を叱責すると性は汚いものと認識。「虹外来」という性に関する外来を開設したが受診にはハードルがあり、医療から学校現場へ性の多様性情報提供、職員研修を行い、学校環境のなかで性の多様性の需要度の促進や周囲の理解を深める活動を実施している。
12. LGBTQ当事者数は増加傾向にあり、2020年日本の人口の8.9%で11人に1人の割合、血液型のAB型出現率と同じ。クラスに2~3人いる可能性があるが、接したことがないと回答した教員は約80%。学童期にカミングアウト(自分の性的指向や性自認を他者に打ち明けること)のハードルは高い。LGBTQの理解促進のため医療と学校の連携は大事で、LGBTQ授業実践のため「多様な性への理解促進(にじいろあきた推進事業)」紹介:WEB参照可

内科健診スライド動画

①なぜ受けるの ②何を診るの ③事後措置の必要性

大阪府医師会学校医部会は内科学校健診に関するスライド動画を作成し、ホームページにアップした。動画は小学生(低学年・高学年)【各4分程度】、中学生・高校生【各7分程度】の年代に応じた構成や口語表現を用いており、下記のQRコードから視聴することができる。



小学生低学年用



小学生高学年用



中学生用



高校生用

令和5年度 第54回全国学校保健・学校医大会 in 兵庫

第2分科会 からだ・こころ (2) 報告

太秦小学校医 井本 雅美

1. 市内の学校感染症発症状況報告からの小中学校、幼稚園、保育園でのCOVID-19の罹患率の検討 神奈川県 市川 正孝
2. 新型コロナワクチン小児接種に対する学校医のアンケート調査について 山梨県 窪田 良彦
3. COVID-19と子どもたちーわかってきたこと、考える未来ー 東京都 川上一 恵
4. 子宮頸がんにならないために～HPVワクチンの接種を考えてみよう～ 兵庫県 山口 聡
5. 兵庫県内各自治体における学校心臓検診・腎臓健診システムの検討 兵庫県 松浦 伸郎
6. 神戸市での腎臓検診の取組み 兵庫県 松岡 弘高
7. 学校心臓検診での精密検診紹介者の受診結果の解析 東京都 泉田 直巳
8. 心臓中隔欠損症 (ASD) の抽出率や診断時の心電図所見 神奈川県 堺 浩之
9. 小児科医に知って欲しい、子どもの視力検査の大切さ 岩手県 鈴木 武敏
10. 小児のやせへの対応～学校医ができること～ 兵庫県 笠井 弘也
11. 中学時代の不登校経験は、高校での自殺未遂率と関係がある* 三重県 梅本 正和
12. 学校における誤食やアナフィラキシー事例に基づいた食物アレルギー対策 奈良県 南部 光彦

(*抄録集の演題名と一部変更)

前半3題はCOVID-19関連の発表でした。

演題1では神奈川県伊勢原市の小中学校、幼稚園、保育園におけるCOVID-19罹患率を検討され、小学生以下の年代では概ね半数程度、中学生では3割程度の罹患率、その差はワクチン接種率の差による可能性、というまとめでした(調査は2022年1月から2023年3月まで)。

演題2では、山梨県内公立小学校166校、255名の学校医に対して、5歳から11歳までのワクチン接種について①接種を積極的に起こすべきか②学校での保護者への説明会等を行えるか③説明会が可能な場合マニュアルや資料は必要か、についてアンケートをとったところ(回答率44%)、約0.6パーセントの学校医は5歳から11歳までのワクチン接種に否定的という結果であり、接種のメリット、デメリットについて不安視している学校医に対して、医師会から信頼できる情報を随時学校医に発信することが重要と発表されました。

演題3は東京都医師会学校精神保健検討委員会の報告で、2021年の大会での報告後、2021年10月から2023年3月まで、オミクロン株の出現で子どもたちの流行が広がりワクチン接種が始まった時期における、地域医療(小児科外来)、学校生活(学校医、養護教諭、スクールカウンセラー)、精神科診療、行政機関それぞれの立場から子どもたちの様子を記述し、その後の課題について考察を加えられました。その具体的な内容については東京都医師会のホームページ内、学校保健関係資料に掲載されています。



第54回全国学校保健・学校医大会 in 兵庫

第5分科会「眼科」報告

眼科学校医会理事 嶋元孝純

第5分科会では10題の発表があった。演題名と研究発表者を以下に示す。

- [座長] 兵庫県眼科医会会長 古川清実
兵庫県医師会理事 相馬葉子
- 1 はぐくもう！ こどもの視力「こどもの目の日」記念日制定 京都府 柏井真理子
 - 2 非眼科医の視力検査は安全なのか 岩手県 鈴木武敏
 - 3 視力受診勧奨者の屈折等に関する調査（続報）屈折に関する調査（続報） 大阪府 宮浦 徹
 - 4 近見視力低下により学習障害を来した1例 兵庫県 平竹純一郎
 - 5 子どもたちのオルソケラトロジーのレンズケア 神奈川県 宇津見義一
 - 6 いわゆる屈折矯正手術術後の視機能を評価する数理解と実践的方法 神奈川県 鈴木高遠
 - 7 神奈川県における3歳児健康診査での屈折検査機器の導入状況 3歳児健診での屈折検査機器導入 神奈川県 飯野直樹
 - 8 江戸川区立小中学校におけるカラーユニバーサルデザイン化の現状と問題点 東京都 田中 寧
 - 9 学校現場の重症鈍的眼打撲 愛知県 戸塚伸吉
 - 10 Hibワクチン・肺炎球菌ワクチン接種時代の細菌性結膜炎 神奈川県 坂本則敏

視力や屈折に関する発表が多かった。京都府から柏井真理子先生が『はぐくもう！ こどもの視力「こどもの目の日」記念日制定』を発表された。人生100年時代を迎え一生涯の眼の健康を保つことがますます重要である。乳児から視覚の発達が始まり、就学時頃にはほぼ大人と同じぐらいに成長する。視力の成長を阻害する要因があると視力の成長が停止する。子どもは0.3程度の視力があれば不自由なく

生活しているので保護者や周囲の者も弱視には気づきにくい。視力が成長できる感受性時期にしっかりと視力を発達させないと「弱視」となり眼鏡やコンタクトレンズを使用しても矯正することができず生涯のハンディとなってしまふ。弱視には1. 屈折弱視 2. 不同視弱視 3. 斜視弱視 4. 視性遮断弱視がある。いずれも網膜への適切な視性刺激不足によるものである。50人に1人とされている弱視であるが、特に数が多い1. 屈折弱視と2. 不同視弱視は、3歳児健診で発見することが非常に重要で、3歳児から治療を開始すれば改善する。弱視のリスクファクターである屈折異常を検査するため平成27年に屈折検査機器「フォトスクリーナー」が上市され、コンパクトで検査手技も容易でスクリーニング機器として有効であるため、3歳児健診での活用が目されてきた。今まで3歳児健診で実施されていた視力検査に加え、屈折検査を導入することで弱視発見率が高くなるとの報告が各地から相次いだ。そこで日本眼科医会では「3歳児健診における視覚検査マニュアル ―屈折検査の導入に向けて―」を作成、全国1741の市区町村に送付し「弱視について」そして「3歳児健診における屈折検査」の重要性を周知した。また厚生労働省や関係団体に「3歳児健診における弱視発見の屈折検査の有用性」を訴え「屈折検査導入」を粘り強く働きた結果、令和4年度より自治体での屈折検査機器購入時に国から半額補助されることになった。その結果、令和5年度に全国の3歳児健診での屈折検査導入が85%を超えている。また令和4年度の厚生労働省研究会における自治体向けの3歳児健診の手引きや啓発リーフレットの作成には日本眼科医会からも協力した。さらに令和5年度作成の母子手帳には3歳児健診の項目に「屈折検査実施の有無」が記載された。日本眼科医会でも啓発ポスターを作成し全自治体に発送を予定してい

る。また残念ながら3歳児健診で見逃された弱視は、幼稚園・保育所等での視力検査でも検出可能で、今後の整備が課題である。また視環境の急速な変化も伴い、小学校低学年以前にも近視傾向にある子どもが増加している。文部科学省の統計においても裸眼視力1.0未満の子どもが増えている。GIGAスクール構想で学校の学習時にも一人1台端末時代となって近視化を助長させる可能性が危惧されているが、本会では「ギガっこ・デジたん！」をはじめとする啓発資料を文科省の協力のもと作成、社会への発信に努めている。このたび本会と日本眼科学会では6月10日を「こどもの目の日」と制定し、弱視早期発見の大切さや近視進行予防推進を通し社会全体で子どもの眼の健康を守っていただけるような啓発を開始したことを報告する。

【お知らせ】
日本眼科学会と
日本眼科医会では
6月10日を
「こどもの目の日」記念日に
制定いたしました。

「はぐもっ!6歳で視力1.0」
という願いを込めて、子どもの目を守る啓発活動を進めていきます。

**6月10日は
こどもの目の日**

はぐもっ! **6**歳で
視力 **1.0**

3歳児健診の標準化・精度向上

日本眼科医会
3歳児健診における
視覚検査マニュアル
30年ぶりの改訂

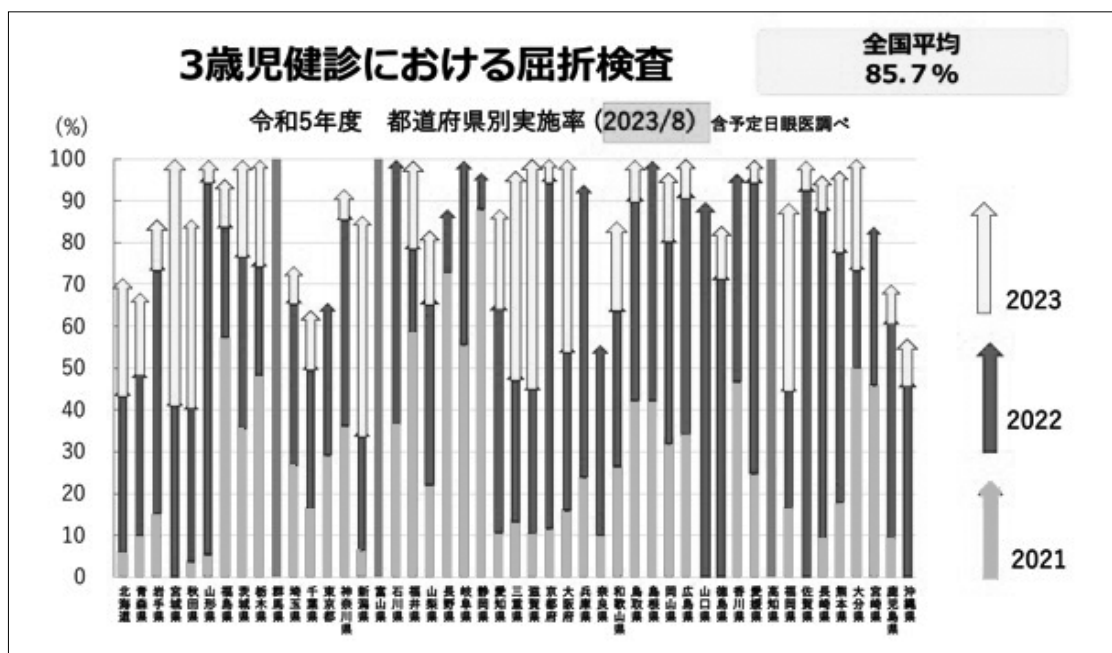
全国1741自治体に配布
自治体関係者に理解を!

**屈折検査を
導入しましょう!**

**3歳児健診における
視覚検査マニュアル**
～屈折検査の導入に向けて～

日眼医IPからダウンロード可能

令和3年7月
公益社団法人 日本眼科医会
監修：日本小児眼科学会・日本眼視光学会・日本視能訓練士協会



第 7 回 常任理事会

令和 5 年 12 月 2 日 於 事務局

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、大久保・中嶋・西村各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、松波耳鼻咽喉科専門医会理事、林議長、長村・東道監事

<協議事項>

1. 学級閉鎖等の基準について
2. 改訂版登園届について
3. 複数配置・産業医等について
4. その他

会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 11 / 7 1 名
2. 精神衛生研究会 11 / 9
3. 「令和 5 年度京都市学校保健会表彰式」並びに「第 57 回京都市学校保健研究発表会」
11 / 18 於：京都市総合教育センター
井本・安野・長村、西村・山口先生（受賞者）
4. 三種混合ワクチンについて
5. インフルエンザ・コロナウイルス等による学級閉鎖等について
6. 学校医の手引きについて
7. 西賀茂中学校の藤岡達雄先生が年度末でご辞任
8. 第 73 回京都市学校薬剤師会懇親会
4 / 6 時間未定 於：ザ・サウザンド京都
9. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 12 / 19 2 名 待機者なし
2. ツベルクリン反応検査（いずれも 14 時～）
接種 12 / 4、判定 12 / 6
於：京都市総合教育センター 山内、杉本
接種 12 / 11、判定 12 / 13
於：京都市総合教育センター 長村
3. 精神衛生研究会 12 / 14 14：00～
4. 京都府歯科医師会・令和 6 年新年互礼会
1 / 10 13：00～14：30
京都府歯科医師会 口腔保健センター 杉本
5. 第 8 回常任理事会兼新年会 1 / 13
17：00～ 於：ホテルモントレ京都
6. その他

学校医会事務局の年末年始休業期間を下記の通りとさせていただきます。

12月28日(木)～1月3日(水)（4日から通常業務）